

3/30

## 消防団活動が認められました 防災功労者消防庁長官表彰を受賞



防災功労者消防庁長官表彰は、自然災害や大規模事故などの現場において、顕著な活動実績が認められる消防団などに消防庁長官が表彰するものです。

大田原市消防団は、令和2年8月31日深夜に発生した奥沢地内の工場火災において、9月1日の鎮火までの2日間、昼夜を通して消火活動に従事しました。このたび、その功績が認められ、令和3年3月10日、令和2年度防災功労者消防庁長官表彰を受賞しました。

3/28

## 330年の時を超えて 日本考古学発祥の地記念碑 除幕式



このたび、那須・八溝の地域文化顕彰活動を行う那須国古代ロマンプロジェクト(代表佐藤憲一氏)により、徳川光圀公による日本初の学術調査が行われた国宝那須国造碑が建つ笠石神社境内に記念碑が建てられました。

除幕式では、碑文を揮毫した水戸徳川家第15代当主の徳川斉正氏と、調査の端緒となった『那須記』の著者大金重貞氏のご子孫により除幕の紐が引かれ、地域の皆さまが見守るなか、高さ約4mの立派な記念碑が披露されました。

4/9

## 地域にひのきの香りで貢献 帝國造林株式会社からの寄贈



帝國造林株式会社より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止およびコロナ禍の窮屈な思いからリラックスすることに役立てて欲しいと『マスク用ひのきスプレー』の寄贈がありました。地場産天然のひのきオイルから作られており、芳香、除菌、消臭の作用があるとのことでした。

今回の寄贈については、小中学校や保育園などに配布し、新型コロナウイルス感染症の防止や対策などに活用させていただきます。

4/6

## 市民の安全を守るため 春の交通安全市民総ぐるみ運動に伴う出陣式



4月6日から15日まで、県内一斉で実施された春の交通安全運動市民総ぐるみ運動に伴う出陣式が大田原警察署で行われ、津久井市長から大田原警察署員に対して、日頃の交通安全・交通事故防止への取り組みについて激励がありました。

本年に入って1件の交通死亡事故が発生しており、市、大田原警察署、関係機関が協力して悲惨な交通事故を1件でも減らせるよう、街頭活動などを通じて交通安全の意識啓発を行いました。

4/23

## お金の大切さを伝えたい

大田原商工会議所青年部から渋沢栄一の  
絵本の寄贈

大田原商工会議所青年部より、渋沢栄一を題材にした絵本「おかねってなあに？」が寄贈されました。日本商工会議所青年部の事業である「渋沢栄一翁プロジェクト」の一環として制作されたもので、お金の大切さや使い方が分かりやすく解説された内容となっています。

寄贈していただいた絵本は、市内の全小中学校と3図書館に配付し、有効に活用します。

4/12

ありがとう みんなにのびる  
かんしゃの根

「ありがとう鉛筆」の贈呈



市では、市内全小学校の1年生を対象に、市で取り組む「ありがとう運動」が、お子さまを通して、それぞれのご家庭や地域に広がっていき、多くの人に笑顔と幸せが広まっていくことを願い、入学記念品として「ありがとう鉛筆」を贈っています。

今年度は市内代表として、市野沢小学校で贈呈式が行われました。贈られた「ありがとう鉛筆」には、昨年度のありがとう川柳大賞の優秀作品の中から選ばれた3作品が印刷されています。

## 市史編さんだより vol.8

市を代表する淡水魚といえば、ミヤコタナゴとイトヨが挙げられます。両種とも限られた水域に生息していて、保全活動によって生息が維持されています。

市には、扇状地や丘陵地などの地形に付随して多くの湧水や溜池があり、それらと篤川、蛇尾川、那珂川などの河川の支流に細流や農業用水路を介して流れが繋がっています。ミヤコタナゴとマツカサガイは、このような環境を代表する動物です。他に、魚類ではスナヤツメ(北方種)、ホトケドジョウ、ジュズカケハゼなどが注目すべき種として挙げられます。

ジュズカケハゼは、滝岡ミヤコタナゴ保護地の観察池で種名が紹介されていますが、姿も地味で一般にはあまり知られていません。細流や農業用水路で湧水があるような淵や水溜まりなどを利用するため、ミヤコタナゴと同様に絶滅が危惧されています。

近年、遺伝子解析が進み、県内では関東固有種(ムサシノジュズカケハゼ)と広域分布種の二種が生息していることが分かっています。今後、市内の湧水地を中心に調査を継続する予定です。情報をお持ちの方は、ぜひ、ご連絡ください。なお、外来集団の移入による遺伝的攪乱が多く種の問題となっています。インターネットなどで購入した魚類や貝類を放流するようなことがないようお願いします。

(自然部会 小川浩昭)

自然部会調査速報③  
～湧水地・丘陵地帯の魚類～ミヤコタナゴ(雌・雄)とマツカサガイ  
写真提供：栃木県水産試験場左：婚姻色の現れたジュズカケハゼの雌 右：雄  
写真提供：なかがわ水遊園問 文化振興課 本4階  
TEL (23) 3135